

教育環境の充実と整備

学校教育の取組として、平成24年度は子どもたちの「学力」と「体力」をさらに向上させるための施策を推進します。

平成23年度の学力実態調査では、学校関係者のご尽力もあり、筑豊地区で上位の成績を収めることができました。これをさらに向上させるために、「土曜塾」や「放課後塾」を新たに開設します。



土曜塾は毎月2回、各小中学校が

作成した年間計画を基に、退職教師や塾講師、近隣の学生に依頼し、国語、算数（数学）、英語を中心に学校などで行うものです。放課後塾は、体育協会や「夢・人・未来塾」などと連携し、バスケットボールやソフトテニス教室などを開催し、子どもたちのスポーツへの関心を高め、体力向上を目指すものです。

また、学校施設の中で、かねてから要望のあった桂川中学校のグラウンド拡張整備工事を実施しました。今回の工事でグラウンドが約1200㎡広がるので、利用面、安全面でも大いに活用できるものと思います。

社会教育

地域ぐるみで子どもを育てる環境を醸成していくとともに、「夢・人・未来塾」や「アンビシヤス広場」の取組を強化し、生きる力を育むための豊かな生活体験を支援しています。

また、市民の多様な学習ニーズに対応するため、優れた技術や経験を持つ方に「人材バンク」の登録をお願い



いし、現在では25名が登録されています。平成23年度は、登録者の協力をいただき各種講座や学校、地域行事等に延べ258人を派遣することができました。今後も、地域の人材の発掘・育成に努め、「人材バンク」の充実を図っていきます。

社会体育では、「スポーツ・トレーニング教室」が大変好評でした。平成24年度から、毎週2日、利用者を対象に実施します。これは、プロの指導員から正しいトレーニング方法を学ぶというもので、このことにより市民の健康増進と施設での利用促進が図れるものと考えています。

人権・同和問題

人権教育・啓発の推進については、人権教育啓発推進委員会を中心に「人権出前講座」に取り組んでいます。平成23年度は3団体の要請に応じて実施しました。

今後も、積極的に人権教育・啓発の推進を図り、差別のない明るい町づくりを進めていきます。

国の示す平成24年度予算編成

国の示す平成24年度予算編成の基本方針は次のとおりです。

「平成24年度の地方財政への対応に当たっては、「平成24年度予算の概算要求組換え基準について」に基づき、通常収支分と東日本大震災分を区分して整理することとし、通常収支分については、財政運営戦略に基づき定める中期財政フレーム（平成24年度～26年度）に沿って、社会保障関係費の自然増や地域経済の基盤強化などに対応する財源を含め、交付団体始め地方の安定的な財政運営に必要な地方の一般財源総額を、平成23年度地方財政計画と実質的に同水準となるよう確保することを基本として、所要の対応を行うこととした。」となっています。